

2011年7月16日 日本医療政策機構市民医療協議会 「がん政策サミット2011」
ベルサール九段

復興シンポジウム
大震災から学ぶこと

—医療機関の立場から—

東北大学
石岡千加史

活動の範囲

- 東北大学病院腫瘍内科関連病院
- 東北大学長陵協議会(関連病院)
- 東北がんネットワーク 運営委員 (化学療法専門委員会委員長)
- 宮城県がん診療連携協議会 委員 (化学療法部会長)
- 厚労科研費・がん臨床研究事業(石岡班)平成22年度～23年度

「東北地方のがんネットワークによる化学療法の均てん化事業」

- NPO法人東北臨床腫瘍研究会 代表理事

- 製薬企業
- がん患者の会
- 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医会
- 宮城県保健福祉部 疾病・感染症対策室(がん対策班)、岩手県医療局

宮城県がん対策推進協議会委員

7月23日
第9回日本臨床
腫瘍学会3日目
緊急特別講演
(横浜)

東日本大震災から約4か月経過

人と社会への影響

医療への影響

被災地の地域差（医療も含めて）

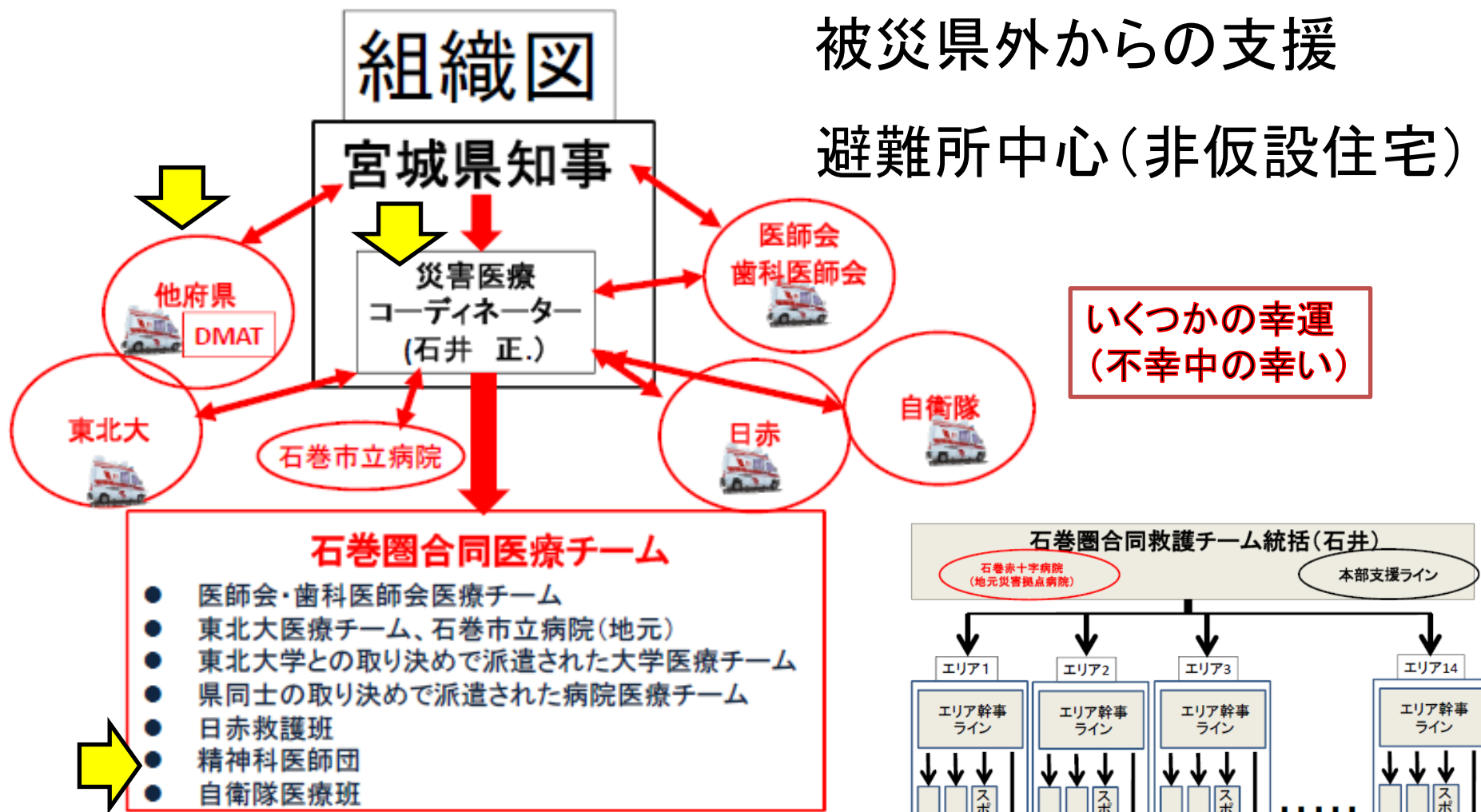
被災地再生と地域医療再生の進め方

全国の災害派遣医療チーム

(DMAT: Disaster Medical Assistance Team)による医療支援

被災県外からの支援

避難所中心(非仮設住宅)



宮城県HP保健福祉部医療整備課から

C. ISHIOKA, Tohoku Univ.

がん政策サミット2011

東日本大震災の影響を受けた事例(症例)紹介 —石巻地区との医療連携—

診療経験から得られた様々な課題

- 患者の被災(家族死亡、自宅全半壊、自家用車流出)
- 治療継続意欲の低下(一部)、精神的支援が不足
- 医療機関全半壊、医療従事者の被災
- 診療情報の消失
- 地域のライフライン停止
- 公共交通機関の機能停止
- 他の医療機関の負担増大
- 通常診療の中断や延期(がん治療の中断や延期)
- 医療機関では把握できない被災地の患者の状況

－東北地方太平洋沖地震・がん患者支援情報－

○被災されたがん患者のみなさまへ

[自然災害発生後のがん対処法 -がん患者と介護者のためのQ&A- \(P1～P4\)](#)
(PDF)

[自然災害発生後のがん対処法 -がん相談窓口- \(P5\) \(PDF\)](#)

[医療機関での受診・窓口負担について \(国保医療課・PDFファイル\)](#)

MDアンダーソン・上野氏
慶應大・今村氏

○[国立がんセンター「被災がん患者ホットライン」](#)

被災されたがん患者さんの受け入れに関するホットラインです

国立がん研究センターもしくはがん治療可能な病院での診療についての相談を受けています

○[国立がんセンターがん診療連携拠点病院の状況と受け入れ体制\(一覧表PDF、随時更新\)](#)

○[国立がんセンター「被災者の方々の救護に関する情報」](#)

○放射線治療に関する支援情報

[日本放射線腫瘍学会](#)
[東北がんネットワーク放射線治療専門委員会](#)

宮城県のHPから
疾病・感染症対策室
がん対策班



病院用・医師会用

がん患者受け入れ 相談窓口のご案内

私ども東北がんネットワークは、東北地方の病院が連携してがん医療に貢献するために設立された組織です。この度、被災地の病院の負担を少しでも軽くするため、加盟病院が連携してがん患者さんを受け入れることにいたしました。なお、受け入れについては事前の



患者さん用

がん相談窓口のご案内

私ども東北がんネットワークは東北地方の病院が連携してがん医療の向上を目的として設立された組織です。この度被災したり避難しておられるがん患者さん



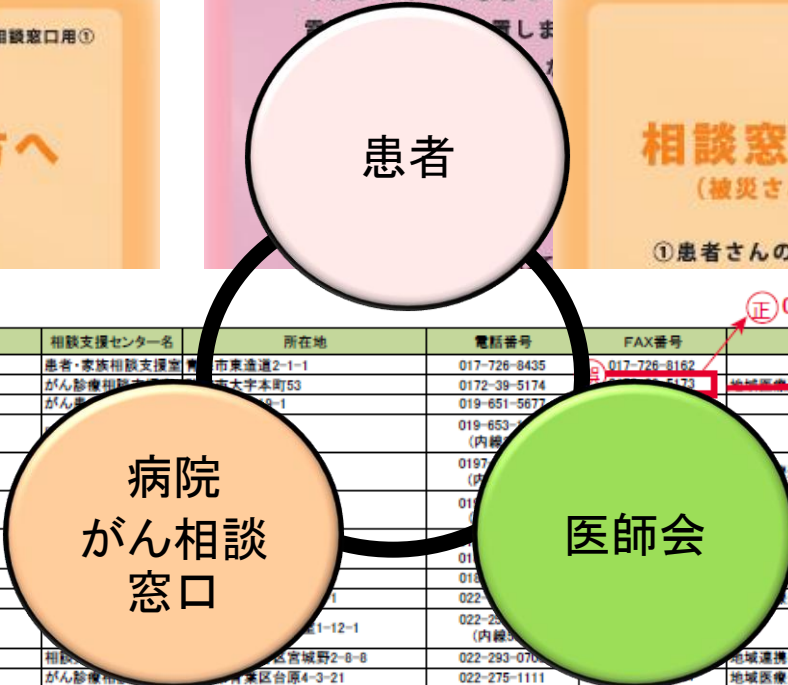
相談窓口用①

相談窓口担当者の方へ (被災地の医師からの相談)

患者さん、被災地を
理解し、被災地の医
合なるべく
する。
受け入れに
め、院内で
作っておく
複数の病院
としての参

がん患者相談窓口一覧

| No. | 県名 | 施設名 | 相談支援センター名 | 所在地 | 電話番号 | FAX番号 | 備考 |
|-----|----|-------------------|---------------|------------------|--------------------------|--------------|---------------------|
| 1 | 青森 | 青森県立中央病院 | 患者・家族相談支援センター | 青森市東通2-1-1 | 017-726-8435 | 017-726-8182 | |
| 2 | | 弘前大学医学部附属病院 | がん診療相談センター | 青森市大字本町53 | 0172-39-5174 | 0172-39-5173 | 地域医療連携センターのFAX番号 |
| 3 | | 岩手医科大学附属病院 | がん相談支援センター | 岩手県盛岡市 | 019-651-5677 | | |
| 4 | | 岩手県立中央病院 | | | 019-653-XXXX | | (内線) |
| 5 | 岩手 | 岩手県立中部病院 | | | 0197-XXXX-XXXX | | 連携センターのFAX番号 |
| 6 | | 岩手県立磐井病院 | | | 019-XXXX-XXXX | | 連携センターのFAX番号 |
| 7 | 秋田 | 秋田大学医学部附属病院 | | | 018-XXXX-XXXX | | 連携センターのFAX番号 |
| 8 | | 平鹿総合病院 | | | 018-XXXX-XXXX | | 連携センターのFAX番号 |
| 9 | | 東北大学病院 | | | 022-XXXX-XXXX | | 連携センターのFAX番号 |
| 10 | | 東北厚生年金病院 | | | 022-25-XXXX | | (内線) |
| 11 | 宮城 | 仙台医療センター | 相談支援センター | 仙台市宮城野区2-8-8 | 022-293-0761 | | 地域連携の番号無し 代表FAX番号 |
| 12 | | 東北労災病院 | がん診療相談センター | 仙台市青葉区台原4-3-21 | 022-275-1111 | | 地域医療連携センターのFAX番号 |
| 13 | | 宮城県立がんセンター | 相談支援センター | 名取市愛鳥塩手字野田山47-1 | 022-384-3151 | 022381-1168 | 地域連携の番号無し 代表FAX番号 |
| 14 | | 石巻赤十字病院 | 相談支援センター | 石巻市蛇田字西道下71 | 0225-21-7220 (内線1140) | 0225-23-0071 | 地域医療連携センターのFAX番号 |
| 15 | | 山形大学医学部附属病院 | がん患者相談室 | 山形市飯田西2-2-2 | 023-628-5159 | 023-628-5161 | 地域医療連携センターのFAX番号 |
| 16 | | 山形県立中央病院 | がん相談支援センター | 山形市大字青柳1800 | 023-685-2757 | 023-685-2606 | |
| 17 | | 山形県立新庄病院 | 地域医療センター | 新庄市若葉町12-55 | 0233-28-7276 | 0233-28-7277 | |
| 18 | 山形 | 日本海総合病院 | がん相談支援センター | 酒田市あきほ町30 | 0234-26-5282 | 0234-26-5114 | 地域連携のFAX番号無し 代表のFAX |
| 19 | | 公立釜淵総合病院 | 相談支援センター | 東置賜郡川西町大字西大塚2000 | 0238-46-5000 (内線1902) | 0238-46-5722 | 医療連携センターのFAX番号 |
| 20 | | 福島県立医科大学附属病院 | 相談支援センター | 福島市光が丘1 | 024-547-1088 | 024-547-1089 | |
| 21 | | 脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 | 相談支援センター | 郡山市八山田7-115 | 024-934-5564 | 024-934-5323 | |
| 22 | 福島 | 会津中央病院 | がん相談支援窓口 | 会津若松市鶴賀町1-1 | 0242-33-7100 | 0242-24-1529 | 地域連携の番号無し 代表FAX番号 |
| 23 | | 竹田総合病院 | 相談支援窓口 | 会津若松市山鹿町3-27 | 0242-29-9832 | 0242-29-9803 | 地域医療連携センターのFAX番号 |
| 24 | | 太田総合病院附属太田西ノ内病院 | 医療福祉相談室 | 郡山市西ノ内2-5-20 | 024-925-8833 | 024-925-8829 | 地域医療連携センターのFAX番号 |
| 25 | | いわき市立総合医療共立病院 | | いわき市内郷御殿町久世原16 | 0246-26-3151 | 0246-26-2119 | 地域医療連携センターのFAX番号 |



相談窓口用②

相談窓口担当者の方へ (被災された患者さんからの相談)

①患者さんの不安・負担を減らすという目的を

種配慮を行う。

療を希望する際に
受けられるように

ら相談を受けた場
相談担当者で連絡
るように努める。

判断が必要になる
門医に取り次ぐ体

問する問い合わせ
ネットワーク事務局
須貝 電話：023-628-5022
ra@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
phoku-cancer.com/

東北がんネットワーク⇩

化学療法専門委員会⇩

委員各位⇩

(CC：運営委員会委員各位) ⇩

⇩

東日本大震災によるがん難民に対する対応についての緊急アンケート⇩

⇩

震災から3週間が過ぎました。東北大学病院では津波の被災地や被災病院からのがん患者の受け入れを出来るだけ行ってきましたが、手術はもとより、化学療法や放射線治療など積極的な治療が必要な患者が治療を受けられない状況（延期になっている、地域の病院が消失または機能不全、自宅損壊や車などの交通手段が消失や障害）が当面続くことは間違いないと思います。また、在宅緩和ケアについては津波・原発被災地では困難で避難所生活者にも治療や検査が必要ながん患者が少なくないと予想されます。患者のニーズに出来るだけ答えられるような地域の体制を整備しておく必要があると思いますがいかがでしょうか。先にお伝えしましたが、添付のようなパンフレットを頂きましたので、宮城県では情報を追加して現在避難所等に配布をスタートしています。しかし、がん患者やその家族からの声を待つだけでなく、より積極的に移動相談窓口などを編成して現地で活動することが出来ないか、活動する意味があるか検討中です。⇩

東北がんネットワークの活動から明らかになったこと

- 放射線治療：1週間～10日遅れ
- 抗がん剤治療：2週間遅れ
- 手術：1か月以上遅れ
- 緩和ケア（院内）は病院によって状況異なる
- 緩和ケア（在宅）は高度な機能不全
- 受入医療機関は、被災地の拠点病院
- 転出も被災地拠点病院から、非被災地域の拠点病院

アンケート集計結果から

| | | |
|----------|--------------------|----|
| 今後の必要な対策 | (1) 専門医派遣等人的支援 | 19 |
| | (2) 拠点病院への受入体制整備 | 32 |
| | (3) 相談窓口の周知 | 28 |
| | (4) 現地に相談窓口開設 | 21 |
| | (5) 在宅から入院への一時受入体制 | 23 |
| | (6) 医師会との連携 | 24 |

- ・中期的な居住環境の整備がん患者を含めて医療依存度の高い方への優先的考慮(宮城・大崎)
- ・仮設住宅・仮居住区から近隣のがん診療拠点病院・地域病院までの交通手段の補助(宮城・大崎)
- ・連携してがん診療に協力可能な地域病院のリクルート、人的支援(宮城・大崎)
- ・高度被災地で職場早期復帰が困難な医療者の臨時雇用など効果的配置(宮城・大崎)
- ・原発事故により長期戦となり離脱していく医療者(特に医師)の補充が問題となる(福島・いわき)
- ・非常勤勤務医の交通手段の問題(福島・いわき)
- ・被災した患者さんの診療情報が乏しいこと(どんな手術をしたか、どこに再発しているのかetc)が大きな問題と考えられたケースが散見(福島・会津)
- ・災害時には一般の患者・家族では移動手段の確保が極めて困難になる。外来化学療法等では広域ネットワークより、より近い病院・診療所間でのネットワークを作り活用することが望まれる(山形・大学病院)
- ・被災地であっても可能な限りがん治療は行うべき。特に緩和医療においては患者さんの住んでいる地域で行うことが大きなメリットになる(岩手・大船渡)
- ・早期の病院機能回復に行政が全力を(岩手・釜石)
- ・拾い上げシステム(検診)も麻痺しているため、現在よりも進行がんの患者数がたまっていく(増加する)と思われ、これを扱う施設が 恐慌をきたす可能性があり、流れをうまく制御する必要あり(宮城・塩釜赤石)

東北がんネットワークによる被災地域病院との意見交換

- 宮城県石巻地区

(4月9日、4月15日)

- 岩手県・釜石地区

(4月21日)

- 福島県いわき地区

(5月13日)

- 福島県相馬地区

(5月19日)

東日本大震災の大津波
による影響大

福島第1原発事故
による影響大

石巻地区意見交換会(1)

日時:平成23年4月9日

場所:石巻赤十字病院

参加者:石井 正(ジェネラルリスクマネージャ)、石岡千加史(司会)、森 隆弘、加藤俊介、有賀久哲(以上、東北大学)、根本建二(山形大学)、蒲生真紀夫(大崎市民病院) 敬称略

目的:被災後の石巻地区のがん治療の状況調査とニーズや今後の対応についての意見交換

(1)石巻赤十字病院は地域の災害拠点病院として当面は急性期疾患の対応を中心に診療を行う。

(2)診療体制は整ってきたが、被災者が多く、避難所暮らしや交通手段が確保できない、日々の生活に追われて治療に専念できない患者が相当いる。

(3)呼吸器内科医、消化器内科医、腫瘍内科医、化学療法チームの派遣の要望。

(4)放射線治療に関しては、現時点では施設やマンパワーの点で何とか対応。

(5)在宅緩和ケアに精力的な開業医グループ医院が被災したため、大幅に制限。

(6)東北がんネットワークの活動として、今後、未受信患者の掘り起こしのために石巻赤十字病院から保健婦を通して難所等に相談窓口で紹介のパンフレットを配布する。

今後も、この地区のがん治療の在り方について継続的に検討することになった。

石巻地区意見交換会(2)

日時:平成23年4月15日(金)

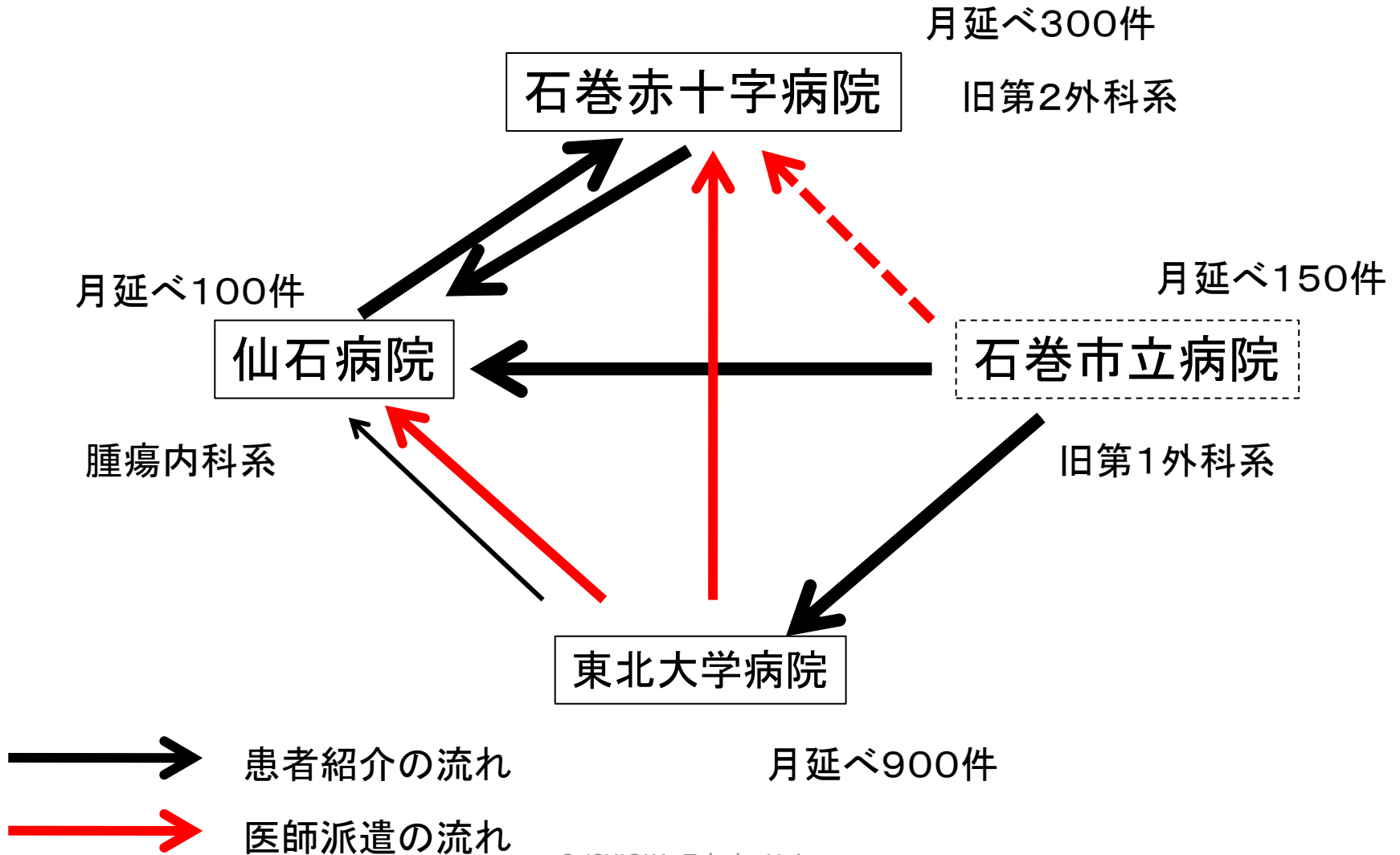
場所:石巻赤十字病院

参加者:石井 正(石巻赤十字病院GM)、赤羽武弘(石巻市立病院消化器部部長)、
児玉英謙(石巻市立病院外科部長)、神部真理子(仙石病院腫瘍内科部長)、
森 隆弘(東北大学病院がんセンター)、加藤俊介(東北大学病院腫瘍内科副科長)、
有賀久哲(東北大学病院放射線治療副科長)、吉岡孝志(山形大学病院腫瘍内科長)、
司会:石岡千加史(東北大学病院化学療法センター長、腫瘍内科長) 敬称略

- 地域のがん医療に付いての現状を把握し、課題を整理して対策の検討
- 抗がん剤治療の対策(次スライド)
- プライマリ・ケアと在宅ケア(緩和ケア)の課題は深刻
- 放射線治療は大きな問題なし
- 東北大学病院が抗がん剤治療を支援(腫瘍内科、胃腸外科)

宮城県石巻地区の外来化学療法支援

主に消化器癌の化学療法



C. ISHIOKA, Tohoku Univ.

がん政策サミット2011

被災地域病院との意見交換会から必要と考えられたこと

- 災害拠点病院を周辺から後方・側方支援
- 各専門領域のコーディネータ(がん領域にも)
- 日頃からの診療領域ごとの連携強化
- 災害時の患者のためのパンフレット配布、相談窓口の強化
- 診療情報のバックアップ
- 診療情報の相互利用(画像データのクラウド管理)
- 診療情報(文字情報)のメモリー化
- 医療以前にライフラインの復旧、整備
- 医療機関のライフライン(ガソリン供給も)優先
- 現場の状況変化は早い(事前対策と迅速実践)

地域医療再生 ー将来に向けてー

- 大震災の影響の分析はこれから(多角的、長期的分析が必要)
- 津波被災地の再建と病院機能の再建は相互依存
- 財源確保(被災3県の平成23年度地域医療再生予算の増額)
- 復旧ではなく復興(新しい地域医療モデル、医療特区)
- 地域差(被災状況、地理的状況、都市部との関係、地域経済産業)
- 県主導の再生計画(宮城県震災復興会議と同計画)を支援
- 大学や医師会が連携して